

Pain is inevitable Suffering is optional

鉄鋼業は発達したものの、造船業の発展にともなう鉄鋼需要の拡大には対応できなかった。なお、重工業の発展にともない、**男子労働者の比率が高まった**。

17 大戦景気・政党内閣の成立

ロシア革命

1917年3月ロシアのロマノフ朝滅亡＝三月革命、11月（**ソヴィエト政権**）の樹立＝十一月革命。三月革命で退位した（**ニコライ2世**）が、（**大津事件**）の被害者であったことが出た。アメリカが、チェコスロバキア軍救援を名目とする派兵を提案、1918年8月、日本も出兵を決定【**寺内正毅**】内閣時＝（**シベリア出兵**）。日本のシベリア撤兵が（**加藤友三郎**）内閣の時であった。

1. 大戦景気

日本では1916年頃から輸出が急増した。大戦勃発当時（第2次大隈内閣成立当時）には6億円強であった輸出総額は、2年後の1916年（大隈内閣の末期）には約2倍の12億円弱になった。輸出の増大は民間企業の発達をもたらし、その結果所得税を中心に政府歳入が急増した。1916年に始まった所得税収の増加の結果、翌17年には日本近代史上で初めて、所得税が地租を上回った。

①背景…第一次世界大戦勃発にともなう**輸出**の急増

要因● **ロシア**・**イギリス**からの軍需

- **アジア** 市場の独占←ヨーロッパ諸国の後退
- アメリカでの戦争景気＝対米輸出の拡大
※「大正時代の新天佑」⇒ **井上馨**

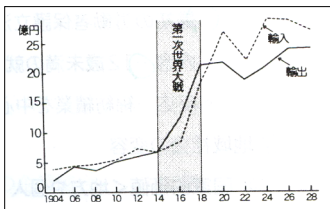
② **日露戦争**後の経済危機からの脱出

…輸入超過⇒ **輸出超過**へ・債務国⇒ **債権国**へ

③経済の飛躍的な発展 ⇨過度な膨張の面強い

ア **工業生産の拡大**

⇒アジア最大の**工業国**となる(工業生産額>農業生産額)工場労働者は(150)人を超えた。特に重工業の発達で男性労働者が増加し、女性労働者の数に迫った。



塚原哲也先生のグラフ

輸出超過 債務国から債権国へ

アジア向け輸出繊維は**綿糸**と、それを原料にする**綿織物**が中心。

アメリカに対しては**生糸**の輸出が好調。

- **綿織物**の輸出高> **綿糸**の輸出高

海運業

世界的船舶不足⇒海運業・造船業の発達⇒【**船成金**】

よく出るのは海運業が世界(3)位になったこと。

船成金 **内田信也**が出た。

鈴木商店など商社の成長 鈴木よねと金子直吉

輸出だから商社が発展

資本輸出の拡大… **在華紡**の設立など

鉄鋼業

満鉄による① **鞍山**製鉄所設立し② **撫順**の石炭を使用③ **八幡製鉄所**の拡充

民間製鉄所の銑鉄生産量>官営製鉄所



化学工業

ヨーロッパ諸国が一時アジア市場から撤退（**薬品**・**染料**・**肥料**）等の輸入が止まり、国内の化学工業が発展した。輸入は主に**ドイツ**。

重化学工業生産額は工業生産額の**30%**の比重。

水力発電

動力の転換…蒸気力から**電力**への転換が進む⇒**猪苗代**水力発電所（福島）と東京を結ぶ長距離送電が実現した1915。

政党への追い風

POINT

①【天皇機関説】

天皇機関説とは、**統治権の主体を法人**（法律上の人格を認められた組織）**として****の国家に** 帰属させ、天皇は、**国家の最高機関として憲法の条項に従って統治権を行使する存在** であると考えられる学説をいう。

明治末に立憲君主制を基礎づけるため、（**美濃部達吉**）が説く。天皇＝神、という考えではなく、天皇制を科学的に解釈しようとしたもの。天皇は最高の（**国家機関**）である。（**議会は独立した権限を持ち、天皇の統治権は（議会によって制限される）**）。「立憲制の名の下で、一部の連中が専制政治をすることがあってはならない」。美濃部の憲法解釈は、政党内閣の慣行を支える理論的基礎としての役割を果たすことになった。

②【民本主義】

1916年、政治学者の**吉野作造**が論文「憲政の本義を説いて其の有終の美を済すの途を論ず」（『**中央公論**』）雑誌名が出た、で、⇒ **民本主義**を提唱。デモクラシーの訳語として、主権在民を含蓄する「民主主義」の語では明治憲法に抵触するため、主権の所在を問わない「民本主義」の語が採用されたのである。吉野は、この民本主義を明治憲法の枠内で民主主義を徹底するための政治理念とし、普通選挙・政党内閣の実現などを主張した。

POINT

下線部①の指導の下に結成された学生団体は**新人会**。

史料の時期に下線部②に該当する元老を選択させる問題。

下線部③を明治20年代に唱導していたのはどれか。

イ 立志社 ロ 平民社 ハ 政教社 ニ 民友社 ホ 明六社

1918 吉野作造⇒ **黎明会** 結成（啓蒙活動を行う）

寺内正毅 内閣（長州・陸軍）非立憲内閣

呪文

かさかさかざん おおつてはたかやき

桂西桂西桂山本 大 寺原高加山清



Pain is inevitable Suffering is optional

第2次大隈重信内閣の後に成立。第一次大戦後（**挙国一致**）を掲げてたが海軍大臣以外は山県有朋で占められていた。第2次大隈内閣の与党であった立憲同志会等が合同して（**憲政会**）を組織して内閣に対抗すると、総選挙で勝利した立憲政友会の（**原敬**）、立憲国民党の（**犬養毅**）を同内閣が設置した（**臨時外交委員会**）に取り込んで政権を安定させた。

米騒動

1918年7～9月（**米騒動**）発生。原因は（**シベリア出兵**）をあて込んだ米の投機的買占めが横行し米価が高騰。（**富山県**）の騒動から全国に波及した。最終的には70万人～100万人以上が参加。鎮圧に出た軍隊は5万7千人。2万5千人を検挙している。

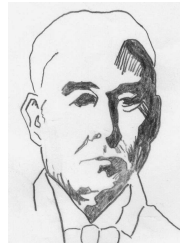
寺内は自信を失い辞意責任で総辞職

→民心掌握のため⇒**本格的政党 内閣** 結成

・後任は民心掌握のため原敬が有力。しかし、山県は政党内閣を作りたくないため、西園寺を推す。

・西園寺は、「原が組閣して失敗すれば超然内閣に戻すことができる。しかし、原内閣を作らなければ、政党が力を合わせて超然内閣を阻止し、やがては加藤内閣ができてしまう」と山県を説得して原内閣が実現した。

世界的な好景気を背景に「積極政策」で選挙！



原敬 内閣（立憲政友会）⇒ **平民宰相** と呼ばれたことが出た。外務大臣、陸海軍大臣以外は、全員立憲政友会員。外務大臣：内田康哉

衆議院第一党党首で爵位を持たない衆議院議員の組閣は初めて

POINT

①【**大学令**】1918年、帝国大学以外に公立・私立大学、単科大学の設立を認める大学令が公布され、原内閣のもとで高等教育の充実が図られた。この政策は、鉄道の拡充などと同様に、**政友会の支持基盤を**

充実・拡大するのに適格的な面を有していた。

②【普選運動の高揚】

第一次世界大戦後、普選運動が高揚した。1912年には、普通選挙の実現を求める数万人の大デモ更新も展開された。

③【**原敬内閣の対応**】原敬内閣は、**普選を時期尚早として認めなかった**ことが出た。

1919 衆議院議員選挙法の改正により、納税資格を10円以上から **3**円以上に引き下げ、同時に **小選挙区**（1選挙区から議員1人を選出する選挙制度）を導入した。

1920 衆議院解散。普選に反対した立憲政友会は、鉄道の拡充、大学・高等学校の増設などの積極政策を公約して、大政党に比較的可利な **小選挙区制下での総選挙に圧勝**した。

④【八・八艦隊の建設】

1927年までに戦艦8隻巡洋艦8隻

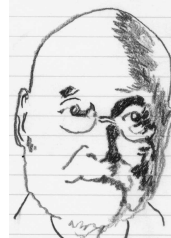
それに応じた補助艦を建造する計画。1907年の **帝国国防方針** で目標となった。

関東都督府を **関東庁**と

関東軍に分け関東庁長官は文民。

④【首相暗殺】

1921年11月、原首相は政党政治の腐敗に憤激した青年（中岡良一）に刺殺された。新聞には「誅される」との 記事もあったほどに原の人気は落ちていた。後継内閣は立憲政友会総裁となった高橋是清が組織したが短命に終わり、以後、3代にわたって非政党内閣が連続した。



高橋是清 内閣

（立憲政友会総裁）横浜正金銀行頭取、日本銀行総裁歴任。

床次竹二郎 が立憲政友会から出て政友本党結成、後に憲政会と合同⇒ **立憲民政党** に。

第14回総選挙（1920年5月10日）

